



COSMETIC & ESTHETIC ATENARI
よしながしょうたろう
吉永正太郎さん(2期生)

美容整体 英～はなぶさ～
やまもと はな え
山本英恵さん(3期生)

メイクの楽しさを伝えるため、市内各所で行っているメイクレッスン

観光コンテンツとして廣現寺本堂を貸し切って行うリラクゼーション体験

新たな価値を創り、地域をリ・デザインする

きくち未来創造塾

「昔はもっと活気があった」「最近、空き家をよく見かける」。そんな声を耳にしたことはありませんか。地域の中には、この現状と向き合い、自分たちが思い描く未来へ向かって走る人たちがいます。未来のために全力で走る、その姿をのぞきました。

【問い合わせ先】商工振興課 ☎0968(36)9720



子どもたちがさまざまなスポーツと英語を体験できるイベント

(一社)エデュスポ菊池
ダイロフ美香さん(4期生)



出会いの場所をつくるために開催している婚活イベント

(株)そうごう保険SHOP
もりがみしょうた
森上翔太さん(4期生)

写真を募集しています! /

第12回「身近な風景自慢」フォトコンテスト

「身近にある風景自慢」を探して、魅力的な景観を守っていきませんか。

★**応募資格** どなたでも応募できます。写真の技術を競うコンテストではありません。好きな菊池の景観(なるべく人物が写っているもの)を写真に収めて、ご応募ください。

★**応募期限** 8月31日(月) 必着

★**表彰** 入賞作品を5点選定し、表彰します。
【入賞】市内共通商品券 最高5千円分

★**応募方法** メール、郵送、専用フォーム、または直接提出のいずれかの方法でご応募ください。郵送する際は、写真データを記録したCD-Rなどのメディア(返却不可)を送付してください。

※詳細や注意事項はホームページをご覧ください。応募専用フォームもあります

★**応募・問い合わせ先**

〒861-1392(住所記載不要)
菊池市役所都市整備課都市整備係
☎0968(25)7242
✉toshiseibi@city.kikuchi.lg.jp

ホームページ



令和8年4月末の人の動き

人口	前月比	年齢別人口	
総人口: 46,412人	9	0~14歳	5,423人 11.7%
菊池: 22,987人	2	15~64歳	24,867人 53.6%
七城: 4,848人	0	65歳以上	16,122人 34.7%
旭志: 3,931人	-2		
泗水: 14,646人	9	自然増減	社会増減
男性: 22,379人	30	出生: 25	転入: 224
女性: 24,033人	-21	死亡: 55	転出: 184
外国人: 1,625人	16		
世帯: 21,150世帯	60		

今月の表紙

5月9日に「ほたるフェスタ in 旭志」が開催されました。会場には13軒の屋台が出店。シャボン玉ショーやお菓子まきなども行われ、多くの子どもたちでにぎわいました。イベント終盤には、ほたる夜想曲保存会による踊りが披露され、来場者も笑顔で踊りの輪に参加していました。
※当日の様子は7月号以降のトピックスでお伝えする予定です



Contents ~今月号の掲載項目~

- 3 【特集】新たな価値を創り、地域をリ・デザインする
きくち未来創造塾
- 8 自然災害から命を守るために
- 10 各区の区長を紹介します
- 12 菊池っ子60運動
- 13 SDGs通信 わたしたちにできること
- 14 健康だより 6月は食育月間です! / 歯ッピーキッズ
- 15 国民年金情報 / 手話ミニ講座 / 介護予防ミニ講座
- 16 文芸さくち
- 17 KiCROSSだより
- 18 人権・同和教育シリーズ / 農業委員会だより
- 19 南北朝・菊池一族歴史街道
深掘り! 菊池川流域日本遺産エピソード
- 20 情報つう
 - ▼お知らせ 住宅の耐震化費用を補助します / 市民意識調査にご協力ください / 旅券の手数料が7月1日から改定されます / 令和7年度(下半年)の公共工事などの入札結果を公表します / 危険なブロック塀の撤去費用を補助します / 6月の「税」の納期限6月30日(火) / 野良猫の避妊去勢手術を支援します / 野良猫の避妊去勢手術の費用を一部補助します / シルバー人材センター入会説明会 / 家畜排せつ物の適正な管理をお願いします / 令和7年度分情報公開実施状況の公表 / 道路緊急ダイヤル(#9910)へ通報を / 児童手当現況届 / 浄化槽の設置申請は早めをお願いします
 - ▼募集 放送大学10月生募集 / 市民会館に関する市民アンケートにご協力ください / 第35回さくち童謡唱歌祭参加者募集 / 市営住宅補充入居者を募集します / 海上保安官募集 / 職業訓練コースのご案内 / 第1・2回消防設備士試験
 - ▼相談 人権お悩み相談所(予約不要) / ひとりで悩まないで男女共同参画専門委員相談 / もの忘れ相談会 / 認知症介護家族のつどい / 予約制による納付相談夜間窓口を開設します
 - ▼講演・講習・教室 防災士養成講座 / 初めての人も安心!カラダ改善プログラム / B&G海洋センタープール小学生水泳教室 / 水中ウォーキング・エアロビクス教室
 - ▼イベント 男女共同参画週間パネル展示 / 6月の遊ぼう・学ぼう児童センター / 「日本遺産パネル展」を開催します
- 25 市民の広場
- 26 高校魅力化全力通信
- 27 菊池っ子だより
- 28 TOPICS ~まちの話題~
- 30 市長からのメッセージ / 休日在宅当番医
- 31 ハッピーバースデー / 菊池市赤ちゃんの駅登録施設紹介

菊池市の情報発信



菊池市の公式アプリケーション



※読み取りができないときは、他の二次元コードを隠して読み取ってください

課題を魅力に変え 菊池の未来を創造する

多様化する地域課題。それを解決することで、地域の新たな魅力が生まれます。理想とする未来を見据えた市の人財育成事業と共に歩む人々の姿を紹介します。

進む人口減少

全国で少子高齢化に伴う人口減少が進む中、本市でも、令和12年には約4万1千人まで減少すると予測されています。実際に平成13年ごろから減少が続き、空き家や空き店舗の増加、地域コミュニティの衰退など、多様な地域課題が生じてきました。

地域活性化に取り組む企業や人が増えてきています。「地域課題の解決に取り組む大人」も広がってきました。

新たなビジネスを創出。地域と企業の双方に新しい価値を生み出すことを目指します。

産官学金がサポート

課題とビジネスが掛け合わさることで、新しいサービスが誕生し、利便性が高い地域に。さらに、活動する人に魅せられた新しい人が集まり、また別のサービスが生まれる。この循環が、課題を魅力に変え、人口減少に歯止めを掛ける重要な流れです。

本市でもこの流れを起こすため、令和4年度から「きくち未来創造塾」を開始。菊池を良くしたいと活動する人や企業が、地域と企業の課題に目を向け、既存事業を軸に

きくち未来創造塾は、熊本大学と市が主催し、県信用保証協会や日本政策金融公庫など、さまざまな専門機関と連携。知識の習得と、ビジネスプランの構築から資金調達までをサポートしています。

地域課題×ビジネス

都市部を中心に、地域課題をビジネスチャンスと捉え、

本市でもこの流れを起こすため、令和4年度から「きくち未来創造塾」を開始。菊池を良くしたいと活動する人や企業が、地域と企業の課題に目を向け、既存事業を軸に

座学に加え、ワークショップや自分のプランを発表する機会も設定。約1年かけて、ビジネスプランを磨き上げます。これまでの4年間で41人が修了。各々が「かっこいい大人」として、活動しています。



飯田真衣さん【1期生】

平成24年に㈱アイシアを設立し、就労支援事業で農業を開始。現在はモリンガの生産と加工を行い、「COCOCI」という農産物ブランドを立ち上げ、加工品を販売している。

事

業を始めて10年目のころ、ふと地域との関わりが少ないなと思ったんです。悩んでいた時に塾のことを聞き、参加することにしました。菊池のことやビジネスのことなど、多くのことを学びました。地域について考えるようになった。コミュニティの大切さを実感しましたね。

モリンガはとても健康に良い植物です。このモリンガを軸に、農業、福祉、健康、地域をつなぎ、目の前の人の笑顔が少しずつ広がっていくような循環をつくりたいと思っています。その一歩となるコミュニティカフェを構想中です。自然と人が集まり、いろいろなつながりが生まれ、地域を元気にできる場所にしていきたいです。



5月10日開催の菊池の恵みフェスティバルに出店し、モリンガ茶を販売

菊池のこともより好きになりました。菊池の魅力やモリンガの可能性を国内外に発信していきたいです。出会った塾生とは、今でも交流が続いています。多くの人と出会えたことが、一番の財産です。

Interview 修了生の声

地域を自分事として考える

きくち未来創造塾を修了し、地域と企業の魅力を高めるために奔走する2人に話を聞きました。



ラージボールは、ボールが卓球より大きく軽いため、世代問わず楽しめる競技

デ

ザインを依頼いただいた生産者の皆さまを、納品後もサポートできないかと考えていました。そこで始めたのがLATO BASEです。人が集う温かい拠点にするため、週末はマルシェを企画し、これまでつながった皆さまに活用していただいています。平日の夜は卓球教室で使

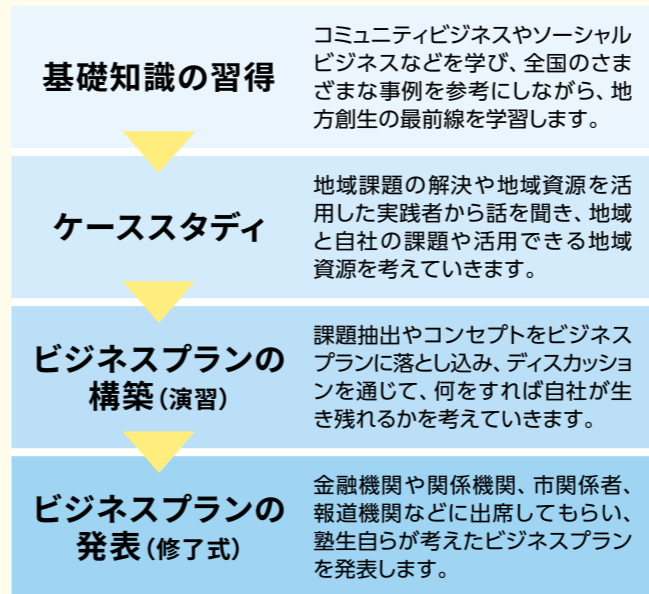


森本真弘さん【2期生】

平成26年に、商品パッケージやパンフレットなどのデザインを手掛ける「㈱LaTo」を設立。令和2年に使われていなかった牛舎を改装し、レンタルスペース「LATO BASE」の運営を始める。

用しますが、日中はあまり活用されていないのが課題でした。塾の話聞いて、何かヒントが見つかればと参加。地域に目が向くようになり、今は地域の人たちの生活の一部になる活用を考えています。高齢化が進むと外出が減り、地域の活気もなくなっていくと思います。買い物での外出を促すため、市内であまり見ない鮮魚市を始めました。年配向けのラージボール交流会も実施。交流の場として人が集まっています。活用余地があります。塾で出会った仲間、個性豊かで面白い人ばかり。切磋琢磨しながら、地元が盛り上がるように頑張っています。

学びの流れ



実施体制

産官学金が一体となった運営体制を構築し、価値を生み出す地域の担い手を育成します。



各分野の知見を持つ機関が連携することで、ビジネスプランの構築から資金調達までをバックアップ。



熊本大学 副学長・共創学環長
金岡省吾教授

地域の課題解決力を育み 新しい人の流れを生み出す

熊本大学は、本市以外にも県内外の自治体と連携して、未来創造塾を実施しています。その中心に立つ金岡省吾教授に、目指すべき理想の地域について話を聞きました。

「かっこいい大人」を 次世代に魅せる

令和7年度から、きくち未来創造塾と市内の高校が連携した「高大連携事業」が始まりました。次世代の「かっこいい大人」の育成に取り組んでいます。

将来の分岐点

本市は、15〜24歳の転出者が最も多く、進学や就職で市外に転出してしまいう傾向があります。

特に高校の3年間は、進学や就職など、将来を決める大きなターニングポイントです。「地域に残って頑張りたい」「将来は地域に帰ってきたい」という意識付けやアプローチが重要となります。

そのために、熊本大学、市内3高校、かっこいい大人(修了生)、市が連携し「高大連携事業」をスタートしました。

思いを受け継ぐために

菊池農業高校、菊池高校、菊池女子高校では、「総合的な探究の

時間」で課題解決までのプロセスを学んでいます。その学びを深めるため、熊本大学の金岡省吾教授が、人口減少や地方創生などを講義。修了生は、地域課題と向き合い、実践しているビジネスプランを生徒たちに話します。

講義後のワークショップでは、学んだことや感想を共有。高校生は将来の働き方や生き方を考えます。修了生も、プランを言葉にすることで、内容を見直すことができ、お互いが成長できる貴重な機会となっています。

この授業とは別に未来創造塾と関わった生徒が、地方創生を学ぶために国公立大学に進学。かっこいい大人との交流が、地域に関心を向けるきっかけとなり、新たな担い手へと育っていきます。

日常生活を支える力

地域を支えているのは、中小企業や小規模事業者です。商店街や農業、保育園など、生活インフラを支えている企業が「かっこいい」企業になれば、地域は衰退していきません。

塾の役割は、こうした小規模な企業や若い世代に、自社と地域の課題を掛け合わせて解決していく力を育むことです。魅力的な企業へと成長し、次世代へ事業を承継する方法を考える場でもあります。

「地元は面白い」と感じる機会をつくる

高校生は、探究の授業で地域課題を学んでいます。加えて、誰もが知る大企業も地域に着目したビジネスを展開していることを知り、地元の大人も課題解決を実践している姿を見せる。「地元でも面白い仕事ができる」と感じた生徒は、地域への関心が高まります。

若者が一度地元を出ることは、必ずしも悪いとは限りません。大事なものは、出た若者が戻ったり、外から地域に関わることです。高



高校生と交流する(一社)ファームここから(新村)の緒方洋さん【3期生】



グループワークで積極的な意見交換を行う菊池女子高校の生徒たち



金岡教授の講義を聞いて、意見を発表する菊池農業高校の2年生

校生に限らず、地元が面白く感じた若者の循環を促すのが、塾の起点とした高大連携の狙いです。

「伝える」が流れをつくり「循環」へと変化

塾生が自身の取り組みを語り、共感した高校生が活動に参加した事例もあります。活動や思いを人に伝えることで、その思いに共感する人や企業が集まり、活動の幅が広がる。面白い地域のかっこいい大人を起点に、若者や企業の循環が生まれていきます。

塾が受け皿となり、この循環を生み出していくことが、地域の目指すべき姿だと考えています。

きくち未来創造塾は今年で5期目。「どう運営するか」から、「何をするか」を考え実践する段階に入りました。次は自らの活動を「語る・伝える」ことが重要です。

地域課題にはさまざまな要因があり、一朝一夕で解決するものではありません。未来創造塾では、その難解な課題に挑んでいます。かっこいい大人たちの活動は続きます。

きくち未来創造塾<第五期>の塾生を募集します!

開講期間 7月～令和9年2月【全14回程度】

定員 12人

対象 市で地域課題を解決する「新たなビジネス」を創出する意欲がある人。

受講料 1万円/期 申込期限 6月19日(金)

申込方法 申込書を商工振興課へ提出。

▶詳しいカリキュラムの内容や日程はホームページをご覧ください。第一～四期の様子も見る事ができます。▶申し込み後に受講料の納入方法などの詳細を連絡します。



ホームページ



1. 基礎知識の習得



2. ケーススタディ



3. ビジネスプランの構築



4. ビジネスプランの発表

Interview 授業を受けた高校生の声

やりたいことが明確になりました

昨年受けた講義で、地方創生の話を知り、全国で取り組みが行われていることを初めて知りました。実際に地元で活動する修了生と交流して、地域や自分のために行動しているのが、とてもかっこよく見えたのを覚えています。

実は私の母も修了生であり、こんなに凄いことをしていたんだと、なんだかうれしかったです。

それまでは、進路に対する明確な希望がありませんでしたが、今は菊池のためになる仕事がしたいと考えています。地域のボランティア活動にも参加し、出会った人たちと関わるのがとても楽しいです。

将来は「熊本県といえば菊池市」と言われるくらい、活気のある地域にできたらいいなと思っています。



菊池高校3年
(普通科地域探究コース)
山本百花さん